沖縄県の農林水産業の概要

特徴・取組

沖縄県は、東西約1,000km、南北約400kmに及び、大小約160もの島からなっている。
亜熱帯地域の温暖な気候と、広大な海に囲まれているが、他方で台風の常襲など厳しい側面もある。温暖な気候や琉球王朝の文化を活かした観光が主力産業となっている。

沖縄県の産業構造は、県内総生産の産業別割合を国内総生産と比較すると、第１次産業が同程度、第２次産業が低く、第３次産業が高いことが特徴である。
離島部においては、就業者数の約２割が第１次産業に従事しており、地域の雇用を支えている。

沖縄県内各地で、地域や島ごとの土壌や自然環境を活かした農林水産業が営まれている。
豊かな牧草資源を活かした肉用牛の繁殖経営が盛んで、肉用牛産出額は県内農業産出額の22%を占める。
耕種作物では、さとうきび、にがうり（ゴーヤー）、パインアップル、マンゴーなどの品目が収穫量全国第１位となっている。特にさとうきびの生産は地域農業だけでなく地域社会を支えている。農業産出額は、ここ数年1,000億円前後で推移しており、令和３年は、922億円となった。
また、豊富な海洋資源に恵まれ、まぐろ等の回遊性魚類を対象とした漁業や、もずく類等の海面海洋業が盛んである。

沖縄県では、温暖な亜熱帯性気候を活かし、本土において国内産が端境期となる冬春期にいんげん、トマト、かぼちゃ等が出荷されており、野菜の国内での安定供給に貢献している。
特に、ニュージーランド産などの輸入品が中心となる２～４月期のかぼちゃでは、国内産はほぼ沖縄県産で占めており、高値で取り引きされる。

農林水産業の就業者は、全国と同様に高齢化が進行しているが、一方で新規就農者に占める青年層の割合は、平成23年以前に比べ高い傾向を示しており、意欲ある担い手が育成されつつある。
また、沖縄県の地理的優位性（東アジア地域の中心に位置し、本土と中国・東南アジア地域の流通拠点としての強み）を活かし、経済成長するアジアを始めとする海外への農林水産物・食品の輸出促進に取り組んでいる。

主な農林水産物

さとうきび

沖縄県内のほぼ全域で栽培されている基幹作物である。栽培面積収穫量ともに全国の過半数を占める。（栽培面積・収穫量全国第１位）

パインアップル

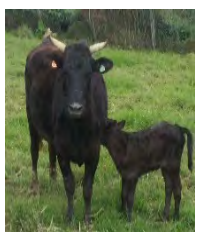
本島北部地域や八重山地域で生産される。近年「ゴールドバレル」等、新品種のブランド化に取り組んでいる。（収穫量全国第１位）

シークヮーサー

沖縄県の特産果樹。本島北部を中心に生産され、ほとんどが加工用として利用される。（収穫量全国第１位）

肉用牛（子牛）

年間を通じて豊かな牧草資源を活かした繁殖経営が主体。八重山・宮古地域を中心に、県内各地で生産されている。（黒毛和種子牛取引頭数全国第４位）



もずく類（養殖）

沖縄県の養殖の中で最も多く収穫されている。全国の収穫量のほぼ全てが沖縄県産である。（収穫量全国第１位）

にがうり（ゴーヤー）

冬春期に全国に供給する主力野菜。本島南部地域を始め県内各地で生産され、収穫量は全国の約４割を占める。（収穫量全国第１位）

マンゴー

近年増加している主力の果樹。宮古島市・石垣市・豊見城市（とみぐすくし）など県内各地で生産され、収穫量は全国の過半数を占める。（収穫量全国第１位）

きく

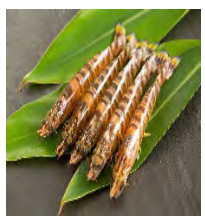
春期に全国に供給する主力花き。糸満市やうるま市を始め本島を中心に生産され、出荷量は全国の約２割を占める。（出荷量全国第２位）

まぐろ類

沖縄県の中で最も多く生産されている。多くは冷凍せずに生鮮のままで水揚げされている。（漁獲量全国第５位）

くるまえび（養殖）

もずくと並び沖縄養殖業の主力産品のひとつである。収穫量は全国の３割以上を占める。（収穫量全国第１位）



沖縄県県内の各地域における農林水産物

中部地域

【農畜産物】さとうきび、かんしょ、オクラ、にんじん、マンゴー、中晩柑類（天草）、びわ、花き（きく等）、肉用牛、豚
【水産物】アーサ（養殖）、ソデイカ

北部地域

【農畜産物】かんしょ、にがうり（ゴーヤー）、かぼちゃ、とうがん、すいか、島らっきょう、ウコン、パインアップル、中晩柑類（タンカン）、シークヮーサー、マンゴー、アセロラ、パッションフルーツ、切り葉、花き（きく等）、肉用牛、豚、鶏卵
【林産物】えのきたけ、ぶなしめじ
【水産物】もずく類（養殖）、海ブドウ（養殖）、アーサ（養殖）、ヤイトハタ（養殖）

南部地域

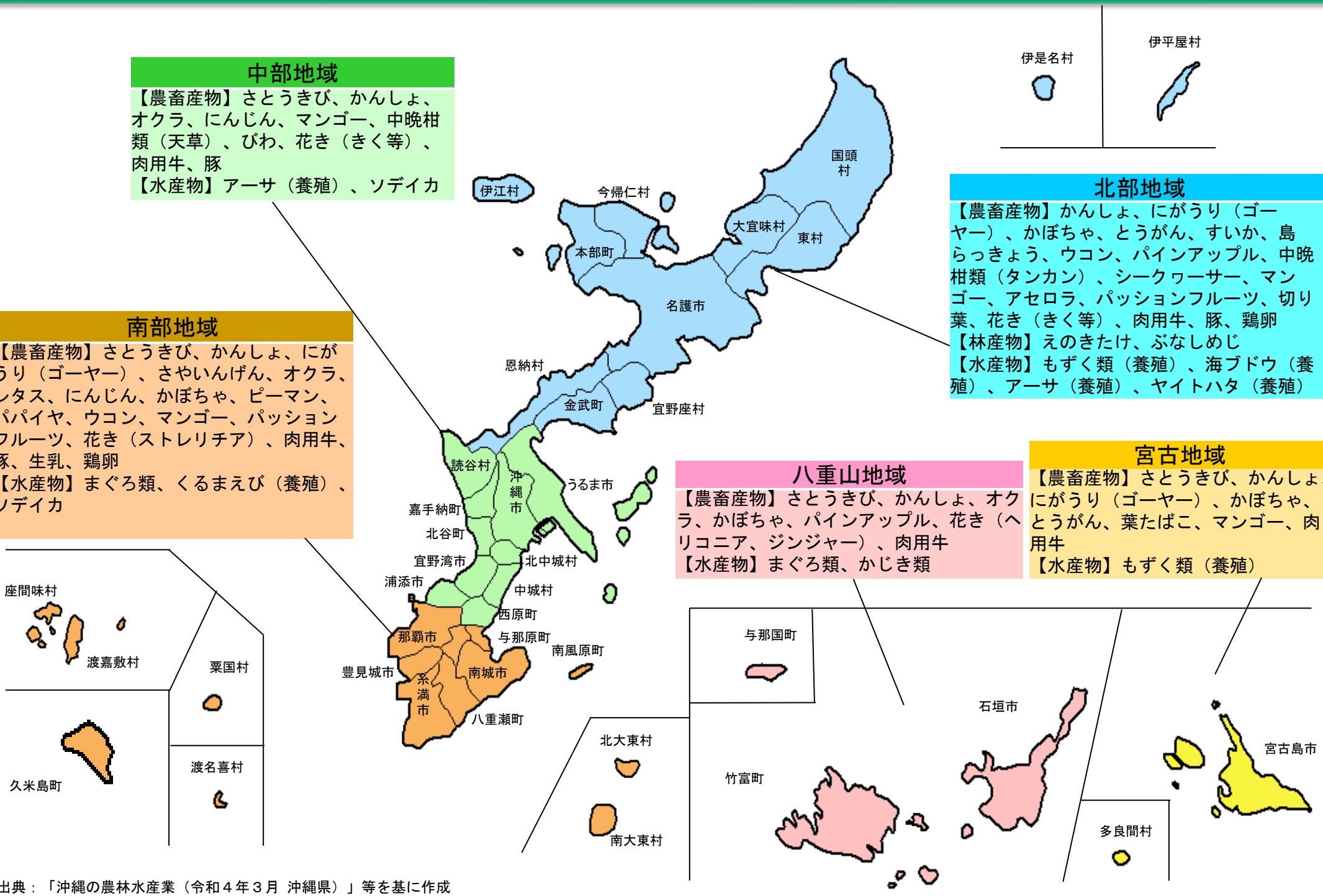
【農畜産物】さとうきび、かんしょ、にがうり（ゴーヤー）、さやいんげん、オクラ、レタス、にんじん、かぼちゃ、ピーマン、パパイヤ、ウコン、マンゴー、パッションフルーツ、花き（ストレリチア）、肉用牛、豚、生乳、鶏卵
【水産物】まぐろ類、くるまえび（養殖）、ソデイカ

八重山地域

【農畜産物】さとうきび、かんしょ、オクラ、かぼちゃ、パインアップル、花き（ヘリコニア、ジンジャー）、肉用牛
【水産物】まぐろ類、かじき類

宮古地域

【農畜産物】さとうきび、かんしょ、にがうり（ゴーヤー）、かぼちゃ、とうがん、葉たばこ、マンゴー、肉用牛
【水産物】もずく類（養殖）



出典：「沖縄の農林水産業（令和４年３月 沖縄県）」等を基に作成

沖　縄　県　の　農　業　（　1　）

・耕地面積は36,300haで全国35位。うち田が787ha、畑が35,500ha。
・農業経営体数は１万1,310経営体で全国42位。うち法人経営体が424経営体で33位。
・認定農業者数は1,232経営体で全国42位。うち法人が250法人で39位。

耕地面積

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
耕地面積	36,300 ha	4,325,000 ha	35
田	787 ha	2,352,000 ha	46
畑	35,500 ha	1,973,000 ha	12
普通畑	27,600 ha	1,123,000 ha	10
樹園地	1,880 ha	258,600 ha	38
牧草地	5,960 ha	591,300 ha	5
参考）総土地面積	228,216 ha	37,797,356 ha	44

出典：「令和4年耕地面積（7月15日現在）」、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
荒廃農地面積	3,617 ha	259,502 ha	25

出典：「令和3年度の都道府県別の荒廃農地の発生状況」

担い手への農地の集積状況

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
担い手への集積面積	9,162 ha	2,560,109 ha	38
集積率	25.1 %	58.9 %	41

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和3年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
・令和5年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
・表中に使用した記号は次のとおり
「0」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）
「－」：事実のないもの
「…」：調査を欠くもの
「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
農業経営体数	11,310 経営体	1,075,705 経営体	42
法人経営体	424 経営体	30,707 経営体	33
総農家数	14,747 戸	1,747,079 戸	46
販売農家	10,674 戸	1,027,892 戸	41
参考）世帯総数	614,708 世帯	55,830,154 世帯	25
集落営農数	7 集落営農	14,364 集落営農	44

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「集落営農実態調査（令和4年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
基幹的農業従事者数	13,288 人	1,363,038 人	40
男	9,511 人	822,144 人	39
女	3,777 人	540,894 人	41
65歳以上	8,035 人	948,621 人	42
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	60.5 %	69.6 %	－
認定農業者数	1,232 経営体	222,442 経営体	42
法人数	250 法人	27,974 法人	39
参考）総人口数	1,467,480 人	126,146,099 人	25

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和4年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

沖　縄　県　の　農　業　（　２　）

・農業産出額は922億円で全国34位。うち肉用牛が209億円、野菜が119億円、豚が114億円。
・農畜産物の生産状況は、パインアップル、マンゴー、にがうり（ゴーヤー）、とうがん、さとうきび、シークヮーサーが全国１位、きくが２位。
・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が１億円で全国11位、経営体数は30経営体で９位。

農業産出額

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
農業産出額	922 億円	88,384 億円	34
米	5 億円	13,699 億円	46
麦類	0 億円	709 億円	32 ＊
雑穀	0 億円	78 億円	17
豆類	0 億円	697 億円	41
いも類	9 億円	2,358 億円	27
野菜	119 億円	21,467 億円	39
果実	53 億円	9,159 億円	36
花き	78 億円	3,306 億円	11
工芸農作物	232 億円	1,727 億円	3
その他作物	5 億円	587 億円	27 ＊
畜産	420 億円	34,048 億円	23
肉用牛	209 億円	8,232 億円	9
乳用牛	36 億円	9,222 億円	33
生乳	36 億円	7,861 億円	31
豚	114 億円	6,360 億円	18
鶏	58 億円	9,364 億円	33
鶏卵	44 億円	5,470 億円	31
ブロイラー	14 億円	3,740 億円	30 ＊
その他畜産物	3 億円	869 億円	22
加工農産物	1 億円	549 億円	30

出典：「令和3年生産農業所得統計」

農畜産物の生産状況

区　分		年次	沖　縄　県	全　国	全国順位
パインアップル	収穫量	R3	6,990 t	6,990 t	1 ＊
マンゴー	収穫量	R2	1,647 t	3,387 t	1 ＊
にがうり（ゴーヤー）	収穫量	R2	7,130 t	17,900 t	1 ＊
とうがん	収穫量	R2	2,900 t	8,750 t	1 ＊
さとうきび	収穫量	R3	815,500 t	1,359,000 t	1 ＊
シークヮーサー	収穫量	R2	4,494 t	4,495 t	1 ＊
きく	出荷量	R3	234,200 千本	1,298,000 千本	2 ＊
肉用牛	飼養頭数	R4	78,000 頭	2,614,000 頭	9
豚	飼養頭数	R4	211,700 頭	8,949,000 頭	13
タンカン	収穫量	R2	1,108 t	4,440 t	2 ＊

出典：「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況調査」、「作物等計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		沖　縄　県	全　国	全国順位
農産加工	総額	5,248 百万円	953,268 百万円	40
	事業体数	190 事業体	30,550 事業体	44
農産物直売所	総額	13,397 百万円	1,046,385 百万円	38
	事業体数	100 事業体	22,680 事業体	47
観光農園	総額	341 百万円	32,634 百万円	27
	経営体数	20 経営体	4,990 経営体	40
農家民宿	総額	104 百万円	3,992 百万円	11 ＊
	経営体数	30 経営体	1,180 経営体	9 ＊
農家レストラン	総額	454 百万円	30,336 百万円	27 ＊
	事業体数	10 事業体	1,260 事業体	37 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

沖　縄　県　の　林　業

・林業産出額は７億円で全国44位。うち栽培きのこ類生産が７億円。
・林産物の生産状況は、粉炭が全国５位、黒炭が13位。

林業産出額

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
林業産出額	7.4 億円	5,456.6 億円	44
木材生産	x 億円	3,254.1 億円	－ ＊
栽培きのこ類生産	7.0 億円	2,091.6 億円	38

出典：「令和3年林業産出額」

林野面積

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
林野面積	115,602 ha	24,770,201 ha	42
国有林	31,767 ha	7,153,338 ha	26
民有林	83,835 ha	17,616,863 ha	44
人工林面積	12,233 ha	10,133,111 ha	47

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林業経営体数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
林業経営体数	8 経営体	34,001 経営体	47
法人経営体	5 経営体	4,093 経営体	47

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林産物の生産状況

区　分		沖　縄　県	全　国	全国順位
素材生産量		x 千㎥	21,847 千㎥	－ ＊
針葉樹		0 千㎥	20,088 千㎥	47
広葉樹		x 千㎥	1,759 千㎥	－ ＊
粉炭	生産量	21 t	4,591 t	5 ＊
黒炭	生産量	40 t	4,098 t	13 ＊
きくらげ類	生産量	20 t	3,031 t	28
しいたけ	生産量	100 t	86,573 t	47

出典：「令和3年木材需給報告書」、「令和3年特用林産基礎資料」

製材工場数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
工場数	3 工場	3,948 工場	47
製材用素材の入荷があった工場数	3 工場	3,892 工場	47
国産材のみ	2 工場	3,138 工場	47
国産材と輸入材	1 工場	607 工場	41

出典：「令和3年木材需給報告書」

沖　縄　県　の　漁　業

・漁業産出額は184億円で全国21位。
・水産物の生産状況は、海面漁業のまぐろ類が全国５位、かじき類が４位、海面養殖業のもずく類、くるまえびが１位。
・漁業生産関連事業は、漁家レストランの年間販売金額が７億円で全国４位、事業体数は30事業体で３位。

漁業産出額

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	184 億円	12,103 億円	21

出典：「令和2年漁業産出額」

漁業経営体数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
海面漁業経営体数	2,733 経営体	79,067 経営体	10
内水面漁業経営体数	4 経営体	4,772 経営体	47

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁業就業者数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
海面漁業就業者数	3,686 人	151,701 人	14
男	3,580 人	134,186 人	14
女	106 人	17,515 人	25

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁船隻数

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
漁船隻数	2,947 隻	132,201 隻	19
動力漁船	2,071 隻	69,920 隻	13

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

水産物の生産状況

区　分	沖　縄　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	38,978 t	4,163,072 t	24 ＊
海面漁業漁獲量	14,936 t	3,236,431 t	30
まぐろ類	10,901 t	148,864 t	5 ＊
かじき類	793 t	9,164 t	4 ＊
海面養殖業収獲量	24,042 t	926,641 t	12 ＊
もずく類	22,400 t	22,445 t	1 ＊
くるまえび	418 t	1,253 t	1 ＊
内水面漁業・養殖業生産量	x t	51,757 t	－ ＊
内水面漁業漁獲量	－ t	18,904 t	－
内水面養殖業収獲量	x t	32,854 t	－ ＊

出典：「令和3年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		沖　縄　県	全　国	全国順位
水産加工	総額	2,486 百万円	170,100 百万円	17 ＊
	事業体数	30 事業体	1,470 事業体	15 ＊
水産物直売所	総額	1,294 百万円	32,443 百万円	8 ＊
	事業体数	40 事業体	820 事業体	5 ＊
漁家民宿	総額	89 百万円	5,553 百万円	15 ＊
	経営体数	30 経営体	800 経営体	7 ＊
漁家レストラン	総額	735 百万円	9,696 百万円	4 ＊
	事業体数	30 事業体	430 事業体	3 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

沖縄県の農林水産業の話題等（１）

地下ダムの整備による高収益作物の導入拡大について

沖縄県は地理的条件により昔から水不足に悩まされていた。そのため、本土復帰後の昭和54年に、農業用水を確保するため世界初の地下ダムが宮古島で建設された。以降国営・県営かんがい事業により、本島南部・中部、伊是名島、伊江島、久米島で合わせて８基の農業用地下ダムが整備されてきた。

これらの地下ダムにより沖縄県の農業は大きく変化した。安定的・計画的な水利用が可能となったことから、基幹作物のさとうきびの生産安定のみならず、多様な作物の栽培が可能となり、高収益作物への転換も進んでいる。

例えば、本島南部ではにんじんの栽培技術の向上等に取り組むことができ、ブランド化に成功した。宮古島においてはマンゴーの生産量が増加し、さらにイチゴ栽培に取り組む農家も現れている。

▲慶座地下ダムにより貯留された地下水

◂地下ダムの整備で主要作物となったマンゴー

（株）沖縄UKAMI養蚕、ディスカバー農山漁村の宝グランプリを受賞

農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」において、第９回となる2022年度、応募総数616件の中で最も優れた取組であるグランプリに、県内から「株式会社沖縄UKAMI養蚕」（今帰仁村）が選定された。グランプリ受賞は県内初。

同社は、地域の生物資源「エリ蚕（さん）」から生産するシルクをスキンケア商品に加工、ブランド化して海外進出しており、飼料生産には荒廃農地を活用（平成29年度：1.3ha→令和３年度：2.4ha）するほか、高齢者雇用や農福連携にも積極的に取り組んでいる。

選定に係る有識者懇談会では、絹産業の非繊維分野への進出に加え、世界を視野に日本のシルクを地域から発信する非常に優れた取組であること、消費者視点での商品開発により大きく成長するビジネスにできると期待されること、農福連携や高齢者の雇用等、地域や農業分野が抱える多くの課題の解決策を実践していることなどが評価された。

▲就労支援事業所利用者による繭の選別作業

▲シルクを加工したスキンケア商品

▲エリ蚕の幼虫

沖縄県の農林水産業の話題等（２）

琉球泡盛テロワールプロジェクトの取組

通常タイ産長粒種米が使用される琉球泡盛の原料用米を沖縄県内で生産して泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限にＰＲして輸出の促進に資するため、国、県、ＪＡなど関係機関の連携の下、平成30年から「琉球泡盛テロワールプロジェクト」が実施されている。

離島の伊平屋島（いへやじま）及び伊是名島（いぜなじま）の自然豊かな環境で二期米として泡盛原料米を生産し、収穫された米は本プロジェクトに参画する県内の泡盛メーカーへ提供されている。

泡盛メーカーへの原料(精米)出荷状況は、令和元年産13ｔ、２年産43ｔ、３年産100ｔと増加している。製造された泡盛は、価値を更に高めるため古酒として熟成中であるほか、一部が新酒として限定的に販売が開始され好評を得ている。

本プロジェクトにより琉球泡盛の国内外への販売拡大と沖縄の稲作の活性化が期待されている。

▲伊平屋島での泡盛原料米の栽培の様子

▲伊是名島での泡盛原料米の収穫の様子

▲沖縄県産長粒種米(令和3年産)を原料として製造された新酒

亜熱帯の気候を活かした希少な作物栽培

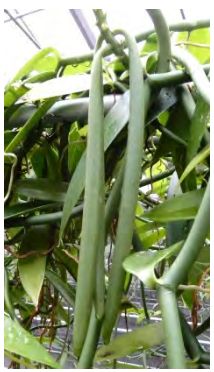
沖縄県では、亜熱帯気域の温暖な気候条件を活かして希少な作物の栽培が行われている。

その中でもコーヒーノキは、北緯25度線と南緯25度線の間の「コーヒーベルト」と呼ばれる地帯で主に栽培されており、沖縄県は一部がコーヒーベルト内に含まれていることから、久米島等の離島を含め県内各地で生産が行われている。

産学連携の取組も行われており、沖縄ＳＶアグリ株式会社は、大手食品メーカーやうるま市、琉球大学等と連携し、耕作放棄地を活用して生産量の拡大を目指す取組を行うなど、徐々に栽培が広がりつつある。

他にも、バニラや紅茶など、国内生産が少なくほとんどを輸入に頼っている作物の生産も行われており、地域農業の振興につながることが期待されている。

▲コーヒーの果実（チェリー）



▲バニラの鞘

▲紅茶園